



## 2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月12日

上場会社名 日本乾溜工業株式会社  
 コード番号 1771 URL <http://www.kanryu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊東 幸夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 大谷 友昭  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福  
 TEL 092-632-1050

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	13,856	31.0	1,126	54.3	1,178	51.5	796	55.9
2020年9月期第3四半期	10,575	△0.6	730	△2.4	778	△1.8	511	△5.0

(注)包括利益 2021年9月期第3四半期 818百万円 (57.3%) 2020年9月期第3四半期 520百万円 (25.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	158.08	64.85
2020年9月期第3四半期	101.43	41.61

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	14,024	7,622	54.4
2020年9月期	12,312	6,870	55.8

(参考)自己資本 2021年9月期第3四半期 7,622百万円 2020年9月期 6,870百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,910	24.3	1,010	12.2	1,050	10.2	700	11.3	135.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

・通期の1株当たり当期純利益は、優先株式の配当金が未定であるため、2020年9月期の優先配当の配当年率を使用した配当金を当期純利益から控除し、算出しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期3Q	5,102,000 株	2020年9月期	5,102,000 株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	61,762 株	2020年9月期	61,762 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期3Q	5,040,238 株	2020年9月期3Q	5,040,238 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考情報)

種類株式の配当の状況

普通株式と権利の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

第1回優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2021年9月期	—	0.00	—		
2021年9月期(予想)				未定	未定

(注) 2021年9月期の予想につきましては、配当年率が2021年10月1日の日本円TIBOR(6ヶ月物)に1.5%を加えた率によるため、現時点では未定とさせていただきます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの一部で弱さが増しており、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループが主力事業とする建設業界におきましては、建設労働者不足や建設資材価格の高止まりなど、受注環境は依然として厳しい状況で推移したものの、公共投資は底堅く推移しております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は、138億56百万円（前年同四半期比31.0%増、32億81百万円増）、営業利益は11億26百万円（同54.3%増、3億96百万円増）、経常利益は11億78百万円（同51.5%増、4億円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億96百万円（同55.9%増、2億85百万円増）となりました。

なお、当社グループの業績につきましては、主力事業である建設事業の通常の営業形態として、売上高が第2四半期連結会計期間に集中する傾向があります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (建設事業)

建設事業における工事につきましては、新規連結子会社である株式会社ニチポーの業績が寄与したこともあり、完成工事高は前年同四半期を上回りました。

また、建設工事関連資材の販売につきましても、港湾の防風柵や道路等の盛土補強材、橋梁補修等のメンテナンス資材が増加したことから、商品売上高は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、建設事業の売上高は110億33百万円（前年同四半期比28.3%増、24億31百万円増）、セグメント利益は11億49百万円（同31.0%増、2億72百万円増）となりました。

#### (防災安全事業)

防災安全事業の業績につきましては、労働安全衛生法の改正に伴い安全衛生保護具の販売が増加したことに加え、備蓄用や新型コロナウイルス感染症対策の資機材の販売や鳥インフルエンザ対策用品の販売が堅調に推移したことから、売上高は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、防災安全事業の売上高は24億57百万円（前年同四半期比48.4%増、8億1百万円増）、セグメント利益は2億74百万円（同74.7%増、1億17百万円増）となりました。

#### (化学品事業)

化学品事業につきましては、タイヤの製造過程で使用されるゴム加硫剤（不溶性硫黄）の販売は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により低調に推移しておりましたタイヤ需要に若干の持ち直しが見られたこともあり、前年同四半期を上回りました。また、当社オリジナル製品である環境型自然土防草舗装材（製品名：雑草アタック）の販売は、前年同四半期並みとなりました。

以上の結果、化学品事業の売上高は3億65百万円（前年同四半期比15.4%増、48百万円増）、セグメント利益は81百万円（同92.3%増、39百万円増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、140億24百万円（前連結会計年度末比13.9%増、17億12百万円増）となりました。

資産につきましては、流動資産が97億42百万円（同19.3%増、15億78百万円増）となりました。その主な要因は、当社グループの通常の売上形態として売上高が第2四半期連結会計期間に集中し、第3四半期連結会計期間ではその売上債権の回収が進むために、現金及び預金が12億99百万円増加したことによるものであります。

固定資産につきましては、42億82百万円（同3.2%増、1億34百万円増）となりました。その主な要因は、のれんの償却等により無形固定資産が1億53百万円減少しましたが、事務所の建設等により有形固定資産が2億93百万

円増加したことによるものであります。

負債につきましては、64億1百万円（同17.6%増、9億60百万円増）となりました。その主な要因は、第2四半期連結会計期間に売上が集中することから第3四半期連結会計期間では手形による仕入債務の支払いが多くなるために、支払手形・工事未払金等が9億83百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、76億22百万円（同10.9%増、7億52百万円増）となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を7億96百万円計上したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において概ね予定の範囲内で推移しており、2021年5月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,942,098	4,241,842
受取手形・完成工事未収入金等	4,221,509	4,251,658
電子記録債権	50,749	77,053
未成工事支出金	701,892	966,453
商品及び製品	173,708	150,868
仕掛品	12,391	12,662
原材料及び貯蔵品	9,933	8,637
その他	54,461	34,903
貸倒引当金	△2,723	△1,795
流動資産合計	8,164,021	9,742,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	612,753	878,072
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	158,405	127,801
土地	1,214,449	1,269,584
その他（純額）	7,013	10,637
有形固定資産合計	1,992,621	2,286,096
無形固定資産		
のれん	940,964	862,550
顧客関連資産	417,189	342,746
その他	13,873	12,972
無形固定資産合計	1,372,026	1,218,269
投資その他の資産		
投資有価証券	698,517	695,874
差入保証金	14,944	16,925
その他	96,585	90,945
貸倒引当金	△26,383	△25,713
投資その他の資産合計	783,664	778,031
固定資産合計	4,148,312	4,282,396
資産合計	12,312,333	14,024,680

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	3,161,172	4,144,721
短期借入金	115,200	115,200
未払法人税等	239,594	218,270
未成工事受入金	387,010	571,949
賞与引当金	198,724	205,545
役員賞与引当金	17,333	7,070
株主優待引当金	4,580	—
その他	403,351	323,210
流動負債合計	4,526,965	5,585,967
固定負債		
長期借入金	675,200	588,800
退職給付に係る負債	108,120	103,549
その他	131,307	123,587
固定負債合計	914,628	815,937
負債合計	5,441,593	6,401,905
純資産の部		
株主資本		
資本金	413,675	413,675
資本剰余金	698,570	698,570
利益剰余金	5,470,383	6,200,763
自己株式	△10,009	△10,009
株主資本合計	6,572,619	7,302,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316,564	333,115
退職給付に係る調整累計額	△18,443	△13,339
その他の包括利益累計額合計	298,120	319,776
純資産合計	6,870,739	7,622,775
負債純資産合計	12,312,333	14,024,680



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)
売上高	10,575,348	13,856,763
売上原価	8,470,513	10,848,467
売上総利益	2,104,834	3,008,295
販売費及び一般管理費	1,374,630	1,881,587
営業利益	730,203	1,126,707
営業外収益		
受取利息及び配当金	21,792	20,587
受取賃貸料	7,725	11,880
受取手数料	9,299	14,579
その他	9,498	12,179
営業外収益合計	48,316	59,226
営業外費用		
支払利息	—	5,602
支払手数料	40	1,400
リース解約損	379	—
その他	87	270
営業外費用合計	507	7,272
経常利益	778,012	1,178,661
特別利益		
投資有価証券売却益	26	27,304
特別利益合計	26	27,304
特別損失		
固定資産除却損	461	—
投資有価証券評価損	7,833	—
投資有価証券売却損	812	1,029
特別損失合計	9,107	1,029
税金等調整前四半期純利益	768,930	1,204,936
法人税、住民税及び事業税	253,490	415,080
法人税等調整額	4,228	△6,926
法人税等合計	257,719	408,153
四半期純利益	511,211	796,782
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	511,211	796,782

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	511,211	796,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,223	16,551
退職給付に係る調整額	2,992	5,104
その他の包括利益合計	9,216	21,655
四半期包括利益	520,427	818,438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	520,427	818,438
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	防災安全事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,602,035	1,656,559	316,753	10,575,348	—	10,575,348
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	284	—	284	△284	—
計	8,602,035	1,656,843	316,753	10,575,632	△284	10,575,348
セグメント利益	877,273	157,034	42,476	1,076,785	△346,581	730,203

(注) 1. セグメント利益の調整額△346,581千円は、報告セグメントに配分していない全社費用346,581千円であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設事業	防災安全事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,033,543	2,457,580	365,638	13,856,763	—	13,856,763
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	935	—	935	△935	—
計	11,033,543	2,458,516	365,638	13,857,698	△935	13,856,763
セグメント利益	1,149,280	274,273	81,685	1,505,239	△378,532	1,126,707

(注) 1. セグメント利益の調整額△378,532千円は、報告セグメントに配分していない全社費用378,532千円であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。